

「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」RISTEX

演劇的手法を用いた共感性あるコミュニティ の醸成による孤立・孤独防止事業

代表者：虫明 元 東北大学大学院医学系研究科 教授
分担者：虫明 美喜 宮城教育大学 国語教育 特任准教授

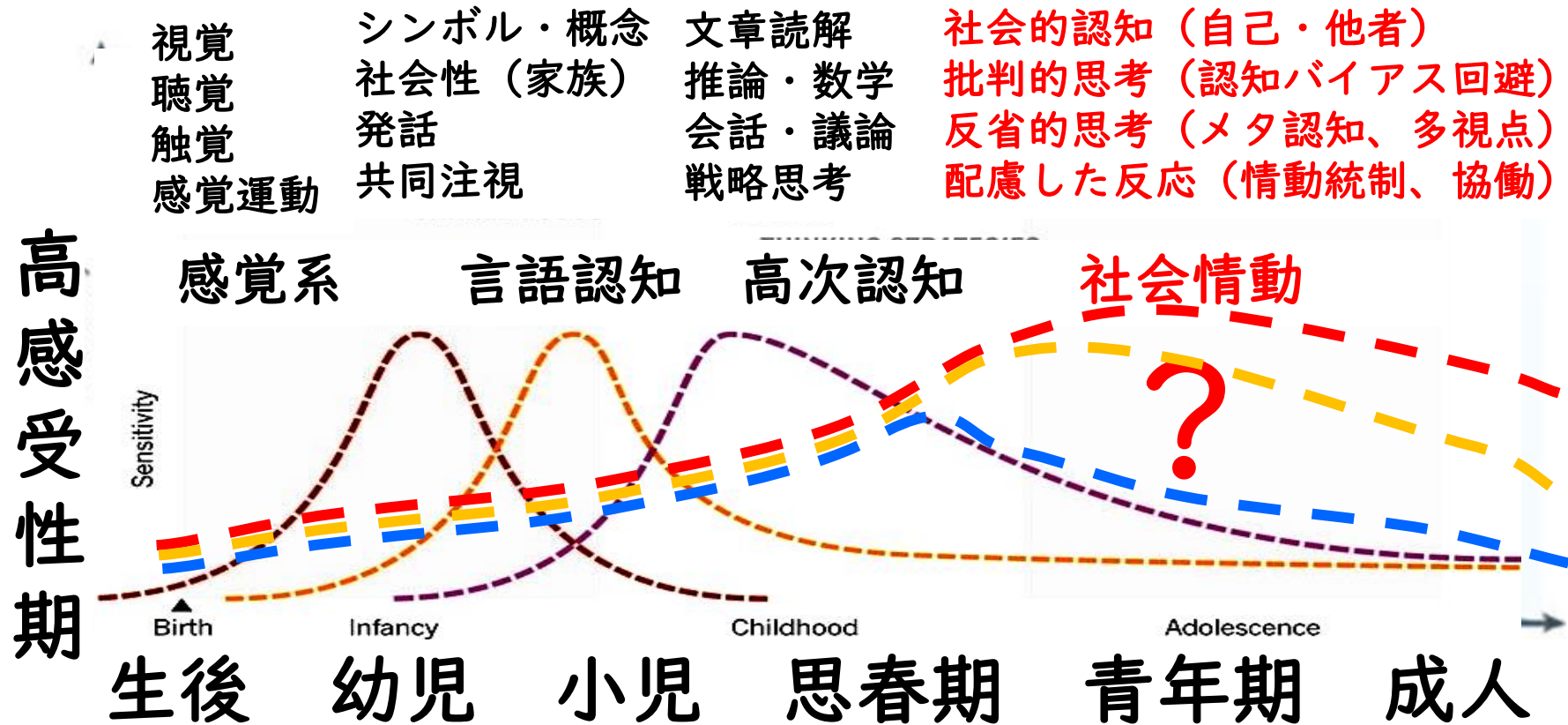
協力者：宗像佳代・小森亜紀 スクール・オブ・プレイバックシアター日本校
及川多香子 PLAY ART!せんだい 共同代表

代表者：虫明 元 連絡先 hmushiak@med.tohoku.ac.jp

大脳皮質の生後発達は段階的に進行

脳は環境との相互作用で適応的に変化する。

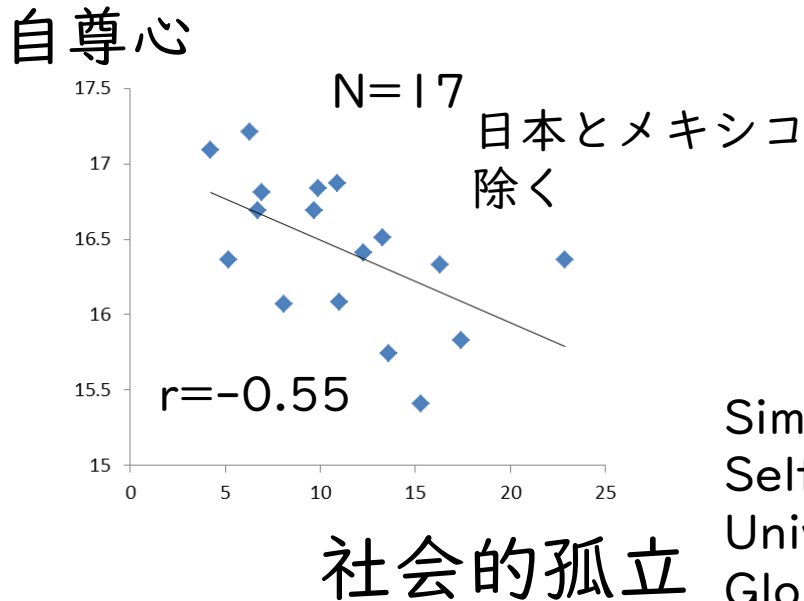
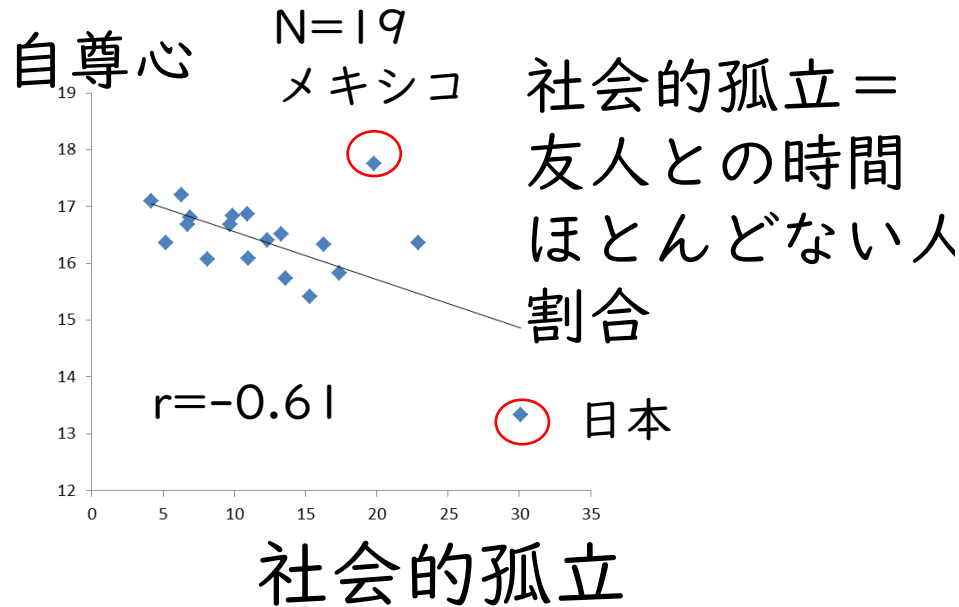
臨界期は特定の環境情報に感受性の高い時期



愛着関係 つながり → 調整 → 信頼 → 自律性 → 新たな関係

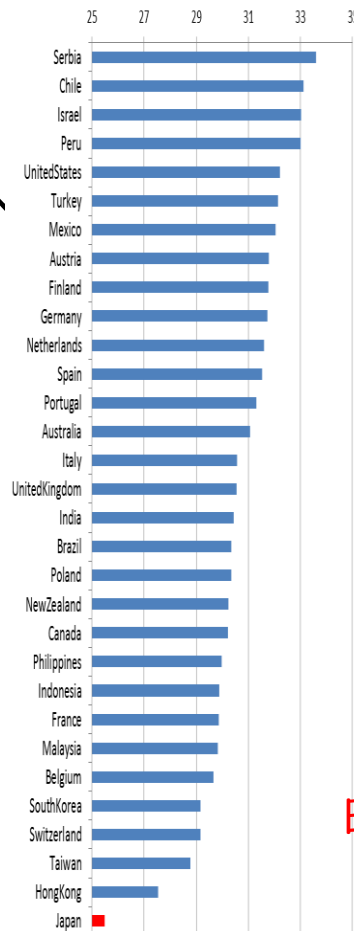
愛着特性①安全基地②メタ認知③協働性（小児－青年期－大人）

社会的孤立（知人と交流）と自尊心の国際比較



自尊心尺度

Rosenberg Self-Esteem Scale n=31(53)

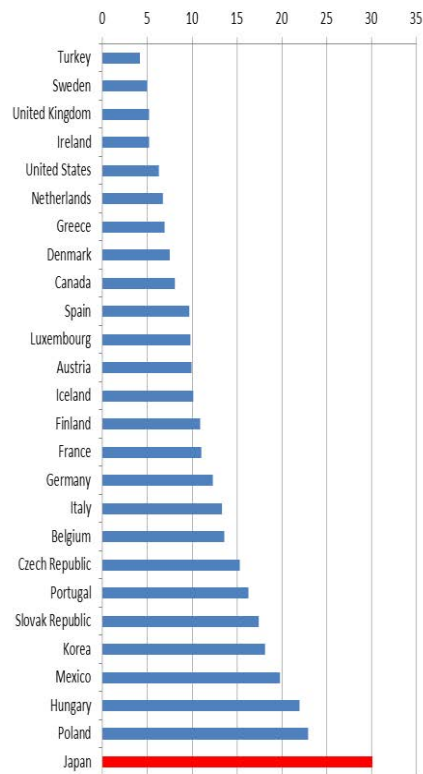


日本

孤立尺度

友人との時間稀ない人の割合

2005(n=26)



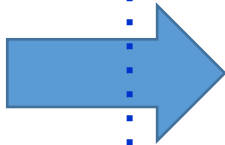
日本

OECD Society at a Glance 2005

Simultaneous Administration of the Rosenberg Self-Esteem Scale in 53 Nations: Exploring the Universal and Culture-Specific Features of Global Self-Esteem David P. Schmitt Juri Allik

①社会的孤立・孤独メカニズム理解と、社会的孤立・孤独を生まない新たな社会像の描出

現代社会
断片化
個人中心
規格化
無力感
不確実性
参加困難
社会距離？
物理距離？



教育
高度専門教育
個人得点評価
メリトクラシー
大規模教育体制
教育と社会の乖離
コミュニティ？
個人の多様性
教室・遠隔座学

大学、高校の教育に演劇的手法を導入し
様々な対人関係の活動と講義をブレンド
した新しい授業形態を設計・実践する。

安全・安心な場で自己表現できる環境
正解を求めずに、可能性を探索する。

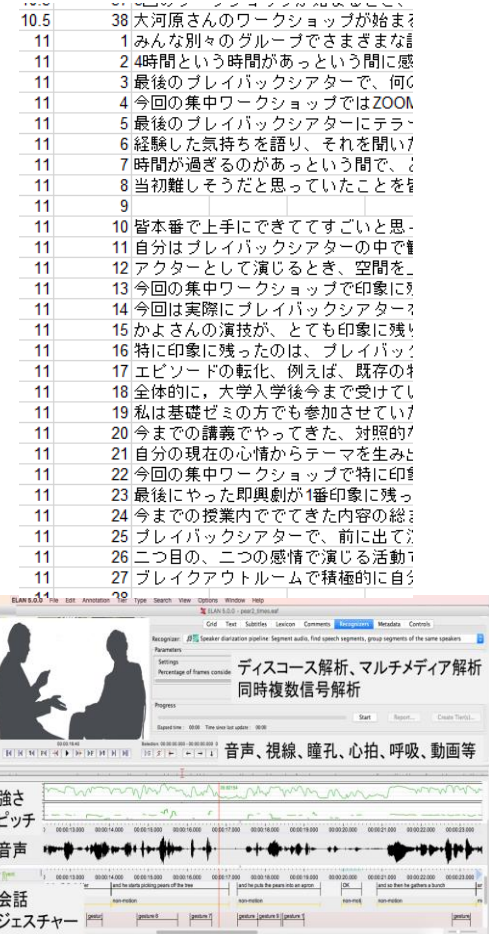
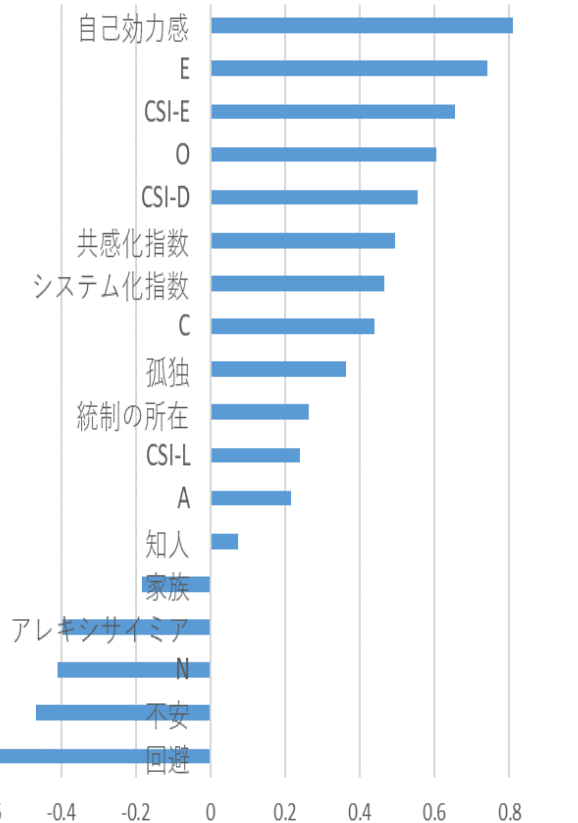
演劇を通じた他者との協働によって
他者の視点を尊重しつつ創作する体験。

他者を演じ、観客にもなり、共演者を
立てつつ、自分も活かす即興性。
メンタライゼーション、アジリティ

②人や集団が社会的孤立・孤独に陥るリスクの可視化と評価手法（指標等）の開発

UCLA孤独	Lubben SNScale
CSI-D（対話）	LOC
CSI-E（情動）	一般効力感
CSI-L（聞く）	肯定感
CSI-S（話す）	楽観度良
HSP	楽観度悪
HSS	共感
愛着不安	システム
愛着回避	grit
アレキシサイミア	O開放性
過去	N神経症
今	E外向性
未来	C誠実性
目で心	A調和性

自己効力感－愛着特性



心理的、生理的な手法による多次元評価項目に基づいて、孤立防止に関わる因子の把握をおこなう。

③社会的孤立・孤独を予防する社会的仕組み

- ・ **演劇的手法**による社会情動スキルの育成プログラムによりコミュニケーションスキルを向上させ、共感性あるコミュニティ・マインドを醸成する
- …遠隔、対面のハイブリッド型で実施し、さらに実践者への育成。

- ・ 対面と遠隔を組み合わせる**演劇的活動と人間関係教育**
→ コロナ禍での新たな活動：**リスニングアワー (LH)**
…各国で実践者育成のEラーニングと実習プログラム
(申請者はこのLHの実践資格を取得)

育成した学生・教員をさらにコミュニティで活動
→ 学生が他の学生と「出会う」場をもてるようにする
→ コロナ禍での人間関係：階層型 → **自律型の組織へ**

- ・ これらの実践を全国の**即興再現劇の関係者、地元の応用演劇活動に関わる団体とも連携** → ローカルかつグローバルに行う体制の構築
… **孤立・孤独の防止につなげていく**

- ・ **プレイバックシアター活動団体日本地図**：北海道から沖縄まで27団体 **世界**では50カ国以上に活動中
- ・ **PLAY ART! せんだい**は仙台、宮城さらに東北で活動



【プロジェクトで達成する目標・実施内容】

対面、遠隔を組み合わせたハイブリッド形式

演劇的手法による活動と人間科学的な講義をブレンドした授業を設計・実践

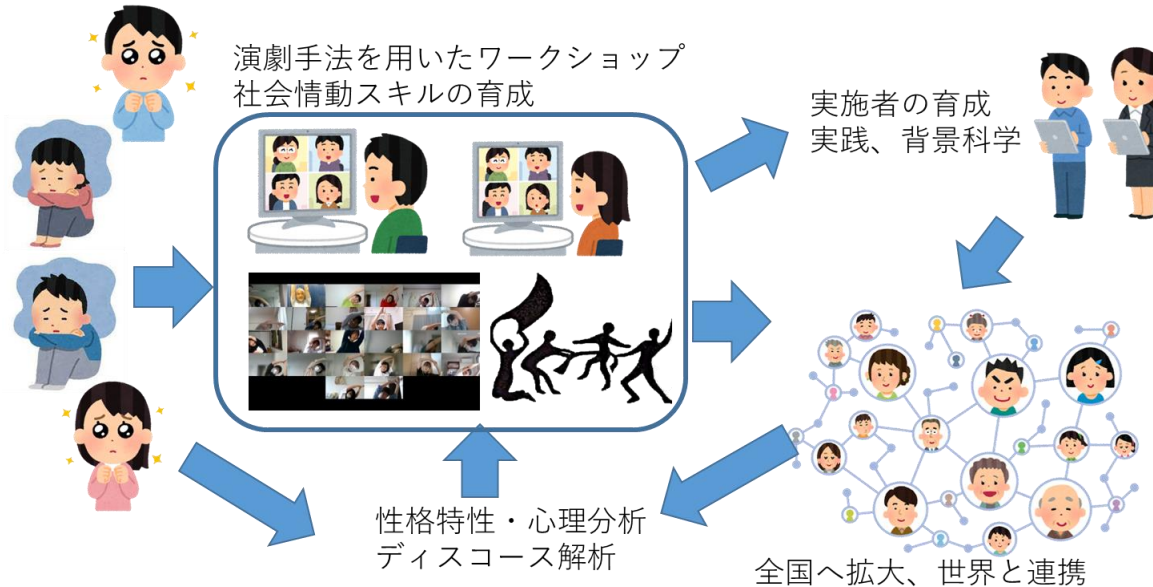
・ 演劇的手法とは

…Sharing a story by
acting through co-creation
and nourishing
compassionate mind
共創し演じることで、物語を
共有し、共感性を醸成する

・ マインドセット

Secure Base	安全基地
Spontaneity	自発性
Yes and	協働性
Playfulness	遊び心

POC：応用演劇の手法でコミュニティの社会情動スキルを育成し
社会的孤立を生まない社会への変容を目指す



Listening Hour



PLAY ART!
せんたい

プロジェクトの進行状況（2021.11-2022.3）

◎大学生に対するWSの実施

@東北大学

- ・展開ゼミにおいて虫明 元/虫明美喜による講義とWS（10月-1月）
- ・PLAY ART! せんだい との対面WS

及川多香子、大河原準介 (12月6,13,20日)

- ・スクール・オブ・プレイバックシアター日本校 との遠隔でのWS

小森亜紀、宗像佳代(1月22日,23日) + プレイバックーズ

@宮城教育大学

- ・国語科専攻学生への虫明 元/虫明美喜による対面WS（11月30日,12月7日）
- ・PLAY ART! せんだい との小専国語受講生への対面WS

及川多香子、菊池佳南（1月12日,19日）

- ## ●東北大・宮教大学生/教員対象のListening Hour 実施（2月- 3月,計6回）

- 東北大・宮教大学生/教員対象の即興再現劇トレーニング（3月9日-11日）

◎中高生に対するWSの実施

- ・ 仙台育英高校で虫明 元/虫明美喜による対面講義とWS（11月13日）
- ・ 仙台向山高校でPLAY ART!せんだいとのWS実施予定（3月17日）→地震で中止
- ・ 宮城教育大附属中学校で 虫明 元/虫明美喜による対面WS（3月1日）

